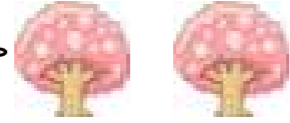


(一社) 日本道路建設業協会  
沖縄支部

# 支部だより

平成 30 年  
4月13日(金)  
第 80 号

会員  
だより



## 地域環境によい道路工事を狙って!

会員の皆様こんにちは。  
弊社にて施工を行い平成 30 年 3 月に完了した「平成 28 年度南風原バイパス補強土壁工事」について紹介します。

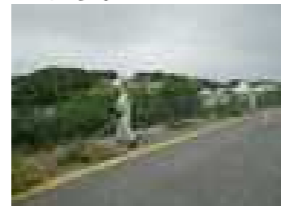
この工事は、沖縄総合事務局南部国道事務所の「与那原バイパス」「南風原バイパス」整備事業の関連工事であります。与那原バイパス及び南風原バイパスは西原町から南風原町における国道 329 号の渋滞緩和や那覇都市圏へのアクセス強化による幹線道路網の形成などを目的としています。

弊社の請負った工事内容としては、与那原バイパス内で 1 号補強土壁 L=110m、2 号補強壁 L=105m を施工する工事です。

今回は市街地での工事となるため地域環境にいい影響を与えたいという思いで工事に取り組みました。取り組んだ項目は 1 つ目に工事箇所が大型ショッピングモール付近となっており、多くの一般車両及び歩行者の往来があり、気持ち良く通行していただくため、現場付近の清掃(草刈り)を行いプリンター設置(花植え)も行いました。2 つ目に地域行事への協力、参加を積極的に行いました。宮城区での大きい地域行事の 1 つで「宮城大綱引き」では地域の協力要請もあり飲み物等の寄贈を行いました。また宮城区が管理する花壇の除草作業も積極的に行いました。3 つ目は地域の皆様との情報共有のため、ドローンにて現場上空より空撮を

株式会社 丸石建設  
代表取締役社長 大石根 幸順

を行い、毎月の進捗状況を現場事務所前に掲示しました。これらの 3 つのアクションが地域環境にいい影響を与え公共工事のイメージアップにつながれば幸いです。また本整備事業に携わることができ大変光栄であるとともに地域のための与那原バイパスが 1 日も早く全線供用できることを願っています。



草刈作業



宮城大綱引きへの協力



空撮による進捗報告



プリンター設置



宮城区花壇除草作業



【現場代理人】  
【大石根 豊】

会員  
だより



## 散歩道、名勝金城町石畳道!

道建協会員の皆様、大変お世話になっております。私事で恐縮ではありますが、沖縄に赴任して 7 年目を迎えております。日頃の運動不足解消とメタボの進行に抵抗したい為、週末にウォーキング(散歩)しています。今回は、お気に入りコース(識名~首里城)の金城町石畳道についてご紹介致します。那覇市金城町にある県指定の名勝で、琉球石灰岩が敷かれた石畳道です。尚真王の時代(1522 年頃)に首里城から識名、国場、真玉橋を経て南部へ至る重要な道として造られたそうです。敷石は大小の琉球石灰岩を組み合わせた「乱れ敷き」となっています。石畳に落ちた雨水は土床に吸水、浸透、濾過し、スーフカ(用水路)へ注がれ、ムラガー(共同井戸)へと誘導され、人々の生活に不可欠な水の確保にも貢献していたそうです。戦争で一部なくなり 300 m しか残ってませんが、両

松尾建設 株式会社  
沖縄支店長 辻 健一

脇に沖縄の古民家があり、城下町の風情あふれる場所となっております。約 500 年の歴史ある道を歩いていると思うと感慨深いものがありますと同時に、坂道の為、膝に違和感を感じているところでもあります。



【営業課 小野 良次】

## 活動報告・トピックス



座波建設 株式会社  
企画・広報委員 平良 聡

## 沖縄にもある 金刀比羅宮(ことひらぐ)

金刀比羅宮と言えば、香川県の琴平町に総本宮がある神社で、海上交通の守り神として信仰されており、漁師や船員などの海事関係者の崇敬を集める事で有名な神社です。

♪「こんぴらふねふね 追風(おいて)に帆かけてシユラシユシユシユ  
まわれば 四国は 讃州(さんしゅう) 那珂の郡(なかのごおり)～」♪  
と民謡にも歌われていて、**こんぴらさん**と呼ばれて親しまれています。金毘羅宮または琴平宮と書くこともあります。

この**金刀比羅宮**が沖縄にもある。といえみなさん驚かれると思いますが、実は我社の研修センターの敷地内に分祀しています。

復帰前の事ですが、瀬戸内海の沿岸には造船所が数多くあり、作業船の発注等の為出張する機会が多かった我社の創業者が参拝のうちに、「海での安全や人としてやるべき努めを誓いたい」ので**金刀比羅宮**を讃岐から沖縄へお迎えしたいと宮司に懇請して、当初は「沖縄はアメリカだから」と断られたが、熱意が通じ分祀の許可を戴いたとの由。ただ当時はアメリカの施政権下であり、宮大工の作った総樺つくりの神殿では税関を通過できないという事があり家具扱いで通関させたと聞いてます。

我社では、春と秋の年 2 回 香川の本宮の例大祭の開催日に合わせて、普天間宮から神職をお招きして**金刀比羅祭**を催し、秋は年度の安全大会の午前中に役員一同参加して関係者の安全を祈願する事が恒例となっています。



## ①道の駅「ぎのざ」に 発電機一式を寄贈!

(一社)日本道路建設業協会沖縄支部では、3月2日(金)に宜野座村の道の駅「ぎのざ」に発電機と投光器の寄贈を行いました。贈呈式は村役場村長室で関係者を前に行われ、与那嶺支部長が「国



## 今月の予定

- ①第 1 回正副委員長会議 支部会議室  
4 月 6 日(金)11:00 ~
- ②第 140 回道路美化活動 前半グループ  
4 月 17 日(火)10:00 ~
- ③会計監査 支部会議室  
4 月 19 日(木)10:30 ~
- ④第 1 回 幹事会 支部会議室  
4 月 24 日(火)12:00 ~ 13:30

土交通省が道の駅を災害時の広域防災拠点として整備を進めている。今回の寄贈は当協会が社会貢献活動として本施策に協力するものです。道の駅の果たす役割は重要で、今回贈呈する機器が利用者、地域住民のお役に立てれば幸いです。」と挨拶し、眞宜野座村長に機器一式を手渡しました。

眞宜野座村長は、「道の駅ぎのざは、東海岸で唯一の道の駅です。災害時の停電等に備えて、発電機の寄贈は誠に有り難い。宜野座村では村の賑わい創出・魅力向上の起爆剤として近隣市町村を含めた活性化のシンボルとなる施設の整備を道の駅「ぎのざ」周辺エリアで進めており、今後、ますます観光客など多くの利用者が訪れる場所となっていくと見られます。発電機と投光器は、災害時のほかイベントなどいろいろ有効活用していきます」と感謝の言葉を述べられた。



「宜野座村長室」で発電機贈呈式  
眞宜野座村長(左)、与那嶺支部長(右)を中心に参加の皆様



## ②第139回 道路美化・清掃活動

3月20日(火)に 12 社 14 名の参加でうりずんの風吹く中、第 139 回道路美化清掃活動を実施しました。うりずんの季節は、清掃活動にも気持ちの良い季節です。

